

水と緑 人のいきかう 高島市 広報たかしま

10/15 日

交通事故防止は
ルールの遵守とマナーの実践
決意新たに『交通安全市民大会』

10/21 土

直流化工事が完成し
「北陸線・湖西線直流化
近江今津駅出発式」

10/28 土

華麗な技と
楽しいバフォーマンスで
3000人が沸いた
「OBC高島vs茨城ゴールデンゴルズ」

CONTENTS 目次

タウントピックス	2~5	文化情報	10~11
シリーズ「財政」	6	防災情報	12
介護予防	7	消防からのお知らせ	12
情報お知らせ版	8~10		

11月15日号
平成18年

発行・編集 高島市役所企画部秘書広報課
〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畠 565番地 ☎ 0740-25-8130
高島市ホームページ <http://www.city.takashima.shiga.jp>
高島市メールアドレス t-info@city.takashima.shiga.jp

2006.November 15 No.31

広報たかしま

2006.11.15 発行

Takashima 2006 November 15 No.31

いつ起こるか分らない災害は、行政だけでは十分に対応できません。
いざという時のために、皆さん一人ひとりの日ごろからの心構えが大切です。
このコーナーでは、災害時に役立つ情報や対策などをご紹介します。



じゃれいなかい地震対策 自助・共助・公助の仕組みづくり

私たちの住む高島市には、多くの活断層が存在し、とりわけ琵琶湖西岸断層帯を震源とする大きな地震の発生が心配されています。こうした地震をはじめとした予想もつかない大災害に対し、私たちはどうぞしっかりと備えを始めることが必要です。今回から、特に地震災害をテーマに『できるこじかい地震対策』を連載します。

◆自助・共助・公助のしくみづくり
災害が大規模・広域化するにしたがい、自助・共助・公助の仕組みがしっかりと機能し、相互に連携することが重要となります。減災対策の第一歩として、それぞれの責任と役割を認識し、体制を築いていく必要があります。まずは、できる事から始めましょう。

自助

「自分の安全は、自らが守る」といふことは、減災を行う上で、最も重要な基本となることです。家の耐震補強や家具の転倒防止対策など、自分の手で自分・家族・財産を助ける備えと行動を自助と呼びます。

公助

近隣の皆さんと協力して、地域を守る備えと行動を共助と呼びます。災害時は、個人や行政の力ではどうにもならない状況が発生します。災害時に円滑に協力するためには、ふだんからの交流が大きな力になります。

公助

行政や公共機関などが災害後に状況を安定化させ、復旧や復興へ向かう手助けをすることを公助と呼びます。



119番 で消 す 火 事

冬に向け、
住宅防火の再確認を
お願いします！

これから、寒い冬を迎えるにあたり火災の発生しやすい季になります。
住宅の火の元の点検を今一度お願いします。

9月の火災・救急・救助 件数 いのちを守る 7つのポイント～

平成18年9月分 ()内は年累計

▼火災

建物火災／0(7) 車両火災／0(2)
その他火災／0(3)

▼救急

交通事故／33(201) 一般負傷／37(310)
急病／115(1,127) その他／24(237)

▼救助

火災／0(9) 交通事故／2(12)
水難事故／1(4) その他／0(8)

注)【救急】その他＝火災+労働災害+運動競技+加害+自損行為+転院搬送等

- 3つの習慣
寝たばとは絶対やめ
ストーブは燃えやすいものから離れた位
置で使用する
- 共助
ガス口ノロなどのやせを離れるときは必ず火を消す
- 4つの対策
・ 住宅用火災警報器を設置する・逃げ遅れを防ぐ
・ 寝具、衣類およびカーテンは防炎品を使用する
・ 火災を防ぐ
・ 住宅用消火器等を設置する
・ 隣近所の協力体制をつくる
・ お年寄りや身体の不自由な人を守る